

授業科目名	認知症の理解Ⅰ	科目コード	1030		
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学 年	1年
担当教員	越谷 美貴恵				
	実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無) 実務経験内容 社会福祉学博士 公認心理士				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	1単位	
使用 テキスト1	書 名	最新・介護福祉士養成講座『認知症の理解』			
	著 者	中司 登志美 他			
	出版社	中央法規出版			
使用 テキスト2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<p><授業の目的・目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士に求められる認知症をめぐる医学的知識について学ぶ。認知症原因疾患の病態や症状について理解する。 ・認知症によって引き起こされる機能の変化や日常生活への影響、また認知症の人の心理状態について理解する。 ・認知症の人の体験について学び、認知症が生活の様々な場面に影響を及ぼすことをふまえ、介護福祉士としてどのような環境を提供すべきかについて考える。 					
<p><授業の概要・授業方針></p> <p>認知症について基礎的知識を習得し、認知症患者の抱える心理的問題、日常生活に関する問題について学ぶなかで、認知症の進行に応じた関わり方やケアの展開について考える。また、認知症本人だけでなく、介護する家族を含めた支援のあり方や認知症の予防について学ぶ。</p>					
<p><成績基準・評価基準></p> <p>1) グループ発表・・・30点 認知症高齢者の心理・行動障害（BPSD）に対する生活支援技術について、レポート10枚程度にまとめ、20分以内で発表する。 ※BPSDのすべてを論述するのではなく、徘徊、暴力、異食など、いずれかに焦点をあて、その行動の心理的背景等をふまえ、具体的な支援、介護方法をまとめる。</p> <p>2) 試験・・・70点</p>					
<p><使用問題集・注意事項></p> <p>※必要に応じて随時、資料を配付</p>					
<p><授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア、施設見学、(施設・在宅)介護実習 					

授業科目名		認知症の理解 I
回	授 業 内 容	備 考
1	認知の定義と診断基準	
2	認知の定義と診断基準	
3	中核症状と BPSD	
4	中核症状と BPSD	
5	認知症の現状（日本及びアジア諸国の現状）	
6	認知症の現状（日本及びアジア諸国の現状）	
7	脳のしくみ	
8	脳のしくみ	
9	中核症状（記憶障害・見当識障害・遂行機能障害）の理解	
10	中核症状（記憶障害・見当識障害・遂行機能障害）の理解	
11	中核症状（空間認知障害・失認・社会脳・失語・失行）の理解	
12	中核症状（空間認知障害・失認・社会脳・失語・失行）の理解	
13	BPSD の定義・分類	
14	BPSD の定義・分類	
15	BPSD の要因（背景因子）	
16	BPSD の要因（背景因子）	
17	認知症の診断・認知症の評価尺度（HDS-R・MMSE 等）	
18	認知症の診断・認知症の評価尺度（HDS-R・MMSE 等）	
19	アルツハイマー型認知症の病態・症状	
20	アルツハイマー型認知症の病態・症状	
21	血管性認知症の病態・症状	
22	血管性認知症の病態・症状	
23	レビー小体型認知症の病態・症状	
24	レビー小体型認知症の病態・症状	
25	グループ発表	
26	グループ発表	
27	前頭側頭型認知症の病態・症状	
28	前頭側頭型認知症の病態・症状	
29	認知症の治療薬（ドネペジル・ガランタミン・リバスチグミン・メマンチン）	
30	認知症の治療薬（ドネペジル・ガランタミン・リバスチグミン・メマンチン）	